

首都高速道路で活躍中 「箱崎事務所」

田中電気の事務所紹介 Vol.1



箱崎事務所内の様子



ビル内にある壁一面のグラフィックパネル
赤く点灯しているところが渋滞しているところです

箱崎事務所は首都高速道路の箱崎パーキングがある首都高速道路公団ビルの8Fにあり、首都高速上に設置されている情報板、車両感知器、CCTVカメラ、ETC設備等の維持補修業務を昼夜問わず行っています。

今年は19万人が鑑賞した隅田川花火大会でしたが、毎年夜空に花火が綺麗に見えるように高速道路の図形情報板の照明を消す作業も箱崎事務所の仕事のひとつです。



事務所の隣には、bay・FMで道路交通情報を放送するトラフィックインフォメーションセンターがあります。目の前のグラフィックパネルを見ながらラジオで放送しています。



視線誘導灯破損による緊急出動

ポットはもう要らない！
ハワイウォーター

サーバー代タダ！

初回は3本からのお申し込み(6,930円)です。
2回目以降は2本からのお申し込み。90℃の熱いお湯も出るののでいつでもお茶が楽しめます。

ご注文は**0120-118-772**まで

高さ1m×幅32cm×奥行37.5cm
(ボトルを入れた状態で1m43cm)
冷5度・温90度
ボトル2,310円(約19リットル)



秋葉原の歴史 シリーズその10

『ヤッチャ場』

明暦の大火(1657)のあと、江戸市街の再編があり、市中の青物商が多町、連雀町、佐柄木町などに集まり、大規模な神田多長青果市場をつくった。

正徳四年(1714)には、多町に青物役所ができ、江戸城へ野菜を納めるようになった。千葉や江東方面からの荷は鎌倉河岸、隅田川上流部からの荷物は昌平河岸というふうに、それぞれ搬入ルートが決められていた。内陸部からは、牛馬や大八車で荷が運びこまれ、市場周辺は常にごった返した。

昭和三年(1923)、多町青果市場は廃止された。新たに、秋葉原駅北側(現在は秋葉原ITセンター)に、東京都中央卸市場として、神田青果市場が設置された。

このわが国最大の青果市場は近隣の人から「ヤッチャ場」といわれ、一日に出入りする買い出し人は6,000人を超え、特に高級な品質の果物を扱うので有名であった。現在は大田区に移転している。



神田青果市場発祥の碑

8/24 つくばエクスプレス開業



開業初日午後1時の秋葉原駅前
切符を買うのに1時間も並ぶ大混雑でした

早速乗ってみました。イスは程よい硬さで長く座っていても疲れないう工夫が感じられました。電車の横幅も広くゆったりとして、振動も少なくとても乗り心地が良かったです。3キロまでの初乗り運賃が160円というの嬉しい。



『ヤッチャ場』あとの秋葉原ITセンター

大好評！ 貸し会議室(5階)



今回のつくばエクスプレスオープニングイベントのスタッフ控え室としても使用していただきました。他には面接や会社説明会などにもご好評をいただいております。

駅から1分と近く、室内は16名くらいで使用できます。
10:00~14:00 / 14:00~18:00 ¥10,500円(税込み)
10:00~18:00 ¥21,000円(税込み)

9/1は防災の日です
「懐中電灯」10名様
限定

申し込みは名前、住所、電話番号を下記までお知らせください。
電話0120-118-772 FAX03-5298-1432
E-mail info@akihabara-factory.com

プレゼント

お問合せは、秋葉原ファクトリーまで 0120-118-772